2022年度
(2022.7.1～2023.6.30)
環境経営レポート

株式会社イズミ車体製作所

エコアクション21認証登録日：2014年3月４日

認証登録番号：0009947

2023年12月1日発行

環境経営方針

当社は環境保全並びに持続可能な社会に貢献するために、事業活動を通じた取り組みの中で、地域及び次世代の環境を守り豊かな社会づくりに貢献します。

1） 電気・水・化石燃料の使用量を把握し、効率化を行い、削減に努めます。
2） 適正処理及びリサイクルにより廃棄物の削減に取り組みます。
3） 事業活動に見合う内容でグリーン購入を推進します。
4） 環境に配慮した特装車づくりを推進します。
5） 環境負荷の低減並びに環境保全に役立つ技術を導入し提供する事で、社会全体の環境負荷低減に貢献します。
6） リサイクルパーツの積極的な活用によって廃棄物の削減に努めます。
7） 当社に適用される環境関連法規等を遵守します。
8） 本方針と共に当社が行う環境経営システムの内容を全社員に周知し、環境に対する意識の向上に努めます。
9） 環境経営の継続的改善を行います。

制定　平成24年6月14日
改定日　令和5年5月25日
株式会社　イズミ車体製作所
代表取締役　國武 幸弘

組織の概要

1）事業者名および代表者名

株式会社イズミ車体製作所　代表取締役　國武幸弘

2）所在地

本社工場　〒869－1222　熊本県菊池郡大津町大字岩坂3258－4

福岡営業所　〒816－0931　福岡県大野城市筒井4-9-18

東京営業所　〒124－0012　東京都葛飾区立石3-15-8　ルナリアⅨ　101

3）事業の規模

資本金　：　43，195，000円

従業員数　：　132名　（2022年6月30日現在）

敷地面積　：　23，355．54㎡　　延床面積　：　6，362，44㎡

4）管理責任者および担当者連絡先

管理責任者　取締役　城下建夫

担　当　者　総務部長　藤田勇輝　（TEL：096-279-1733）

5）事業の内容

a）自動車車体の製作医療関係車両、福祉車両、その他特種車両

b）自動車の修理および整備並びに車検

c）自動車レンタル

d）その他

6）対象範囲

a）認証・登録事業者

株式会社イズミ車体製作所　本社及び工場

福岡営業所及び東京営業所

b）事業活動

福祉車両・特装車両の設計、製作、改造及びメンテナンス、福祉車両のレンタカー業務、ならびにバスの修理・改造、各種車両の車検整備、修理・板金・塗装業務

7）対象事業所・対象従業員数

本社工場　132名

福岡営業所　1名、東京営業所　2名

8）事業年度

7月1日～6月30日

組織図

社長
國武幸弘

環境管理責任者
城下建夫

EA21事務局
藤田勇輝

ISO＆EA21
委員会

板金車検
センター

車両整備課
車両板金課

製造部

製造１課
製造２課
電装課
塗装課

品質保証部

生産管理
品質検査課

サービス課

業務部

営業部

東京・福岡
営業所

総務部

役割・責任・権限

名 称	役割・責任・権限
社　　長	1)　環境方針(環境経営に関する方針)を定め、誓約する 2)　EA21の運用・維持に必要な経営資源を準備する 3)　定期的にEA21全体の取組状況を評価し、全般的な見直しを実施し、必要な指示を行う 4)　環境管理責任者を任命する
環境管理責任者	1)　環境方針、環境負荷及び環境への取組状況の把握・評価結果を踏まえて、具体的な環境目標及び環境活動計画を策定する 2)　対象範囲における事業活動に伴う環境負荷を「環境への負荷の自己チェックシート」をもとに把握し、その結果を踏まえ、事業活動の中で環境に大きな影響を与えている環境負荷及びそのもとになる活動を特定する 3)　EA21環境経営システムを構築、運用、維持し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する 4)　実施体制における各自の役割、責任及び権限を定め、全従業員に周知する 5)　環境目標の達成、環境活動計画の実施及び環境経営システムの運用状況並びに環境関連法規等の遵守状況に問題がある場合は是正処置を行い、必要に応じて予防処置を実施する(是正処置・予防処置を指示する)
ＩＳＯ委員会 ＥＡ２１委員会 (部門長)	1)　事業活動における環境への取組状況を「環境への取組の自己チェックシート」をもとに把握する。 2)　環境目標は、可能な限り数値化し、二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、総排水量削減、化学物質使用量削減、グリーン購入、自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目について、中長期の目標と単年度の目標を策定する。 3)　環境目標と環境活動計画を関係する従業員に周知する 4)　環境目標の達成状況、環境活動計画の実施状況及び環境経営システムの運用状況を、定期的に確認及び評価する

名 称	役割・責任・権限
ＥＡ２１事務局	1)　環境負荷のうち、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量、化学物質使用量(化学物質を取り扱う事業者)を把握する 2)　事業を行うにあたって遵守しなければならない環境関連法規及びその他の環境関連要求事項を整理し、一覧表等に取りまとめる 3)　環境関連法規等は常に最新のものとなるよう管理する 4)　環境関連法規等の遵守状況を定期的に確認及び評価する 5)　EA21の取組を適切に実行するため、必要な教育・訓練を実施する 6)　EA21に関する内部コミュニケーションを行う 7)　外部からの環境に関する苦情や要望を受け付け、必要な対応を行い、その結果を記録する 8)　環境活動レポートを定期的に作成し、公表する 9)　環境上の事故及び緊急事態を想定し、その対応策を定め、定期的に試行するとともに訓練を実施する 10)　事故や緊急事態の発生後及び試行の実施後に、対応策の有効性を検証し、必要に応じて改訂する 11)　EA21の取組を実施するために必要な文書を作成し、適切に管理する。 12)　EA21で必要な取組の記録を作成し、適切に管理する。
全　部　署 (全従業員)	1)　EA21に取り組み、環境経営システムを構築、運用、維持する。 2)　環境活動計画において、環境目標を達成するための具体的な手段、日程及び計画の責任者を定める 3)　環境方針、環境目標及び環境活動計画を達成するために必要な取組を実施する 4)　環境方針、環境目標を達成するため、必要に応じて、実施にあたっての手順等を定め、文書化し、運用する

環境経営目標

1)　中長期目標

①　基準年を令和2年度として次年度（令和3年度）より令和5年度までの3か年でCO2排出量（259,229kg-CO2）、産業廃棄物排出量および処分量（61t）、水使用量、化学物質使用料を3％削減するという目標に変更する。
そのために単年で1％ずつ削減していく。（対売上）
・短期目標（単年度）は1%削減とする。目標値は基準年対比マイナス1%で計算し表示している）
・人員及び売上が変動するため実績は年度末の売上と人員で算出する。

②　電気バスの商品化
FCV（燃料電池）バスの改造をトヨタ自動車の依頼で行い、熊本赤十字病院や筑波大学に救急車などの医療関係車両として納車した。
実証試験を数多くする（球磨村の電気バス実証事業が終了し、環境省に結果を報告した）。

③　SDGsへの取り組み
熊本県SDGs登録事業者（2021年8月25日）として全社を挙げてSDGsに取り組むこととした。

2)　短期目標

①　当社にとってグリーン購入は、1．日本自動車車体工業会（JABIA）指定の架装材料、2．リサイクルパーツ、3．リビルト品、4．溶剤を含まない（または、少ない）塗料とし、これらを積極的に利活用する。

②　整備及び修理におけるリサイクルパーツの利用を促進する

環境経営計画（次年度の取り組みも含む）

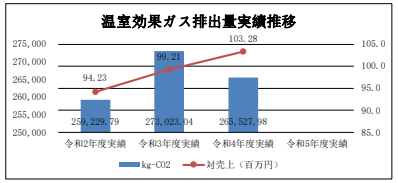
電力・灯油・ガス	1)　電力量調査 2)　電気・照明・冷暖の節電
自動車燃料	1)　燃費計算による意識向上 2)　サービスカーの燃費計測 3)　サービスカーの日常点検（タイヤ空気圧・エンジンオイル） 4)　代車のオイル交換（5,000km）
リサイクルパーツ	1)　リサイクルパーツの利用提案の10％アップ
水資源	1)　水道使用節水の啓発 2)　節水の周知徹底
廃棄物	1)　事務所廃棄物の総量削減 2)　廃材の削減（車両ごとの使用鉄板数を記録）
化学物質	1)　特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第5条第2項の順守

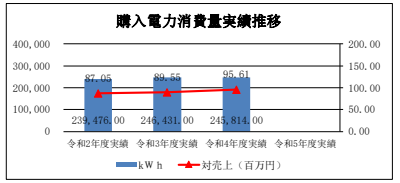
その他	1)　社内クレームの削減（製造1課：50件　製造2課：70件　電装：25件　完成検査時36件） 2)　車両1台分の使用塗料の削減（3％／台） 3)　社外クレーム件数13件以下 4)　あともどり作業の削減、フィードバックの確認 5)　電気バスシステムの構築と評価 6)　エアーコンプレッサの点検（年4回）、清掃（毎月） 7)　ブース、側溝の点検清掃（毎月） 8)　仕様書発行期限の順守 9)　HP・インスタグラム上での環境活動報告（1回/月） 10)　完成検査時の不具合のまとめ・報告 11)　勤怠管理の効率化・エラーチェック 12)　骨格図面日程厳守（製作工程の遅延防止） 13)　出庫前検査の徹底（出庫時） 14)　材料費集計の運営・情報提供 15)　車検整備の標準作業時間の短縮 16)　特定整備の取得

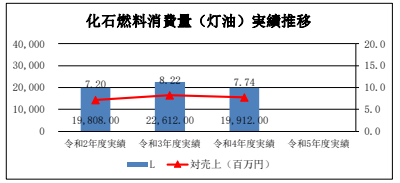
環境目標取りまとめ表　　基準年（排出係数0.480　令和2年度　九州電力排出係数）

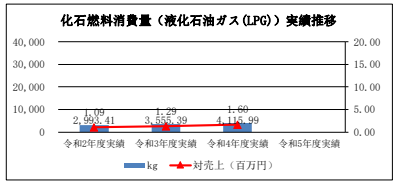
環境への負荷			単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和4年度 目標値	実績	達成率	評価
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO2	259,229.79	273,023.04	265,527.98		254,045.19	265,527.98	96%	×
			対売上（百万円）	94.23	99.21	103.28		92.35	103.28	89%	×
			対人員（人）	2,009.53	2,068.36	1,952.41		1,969.34	1,952.41	101%	○
購入電力消費量			kWh	239,476.00	246,431.00	245,814.00		234,686.48	245,814.00	95%	×
			対売上（百万円）	87.05	89.55	95.61		85.31	95.61	89%	×
			対人員（人）	1,856.40	1,866.90	1,807.46		1,819.28	1,807.46	101%	○
化石燃料消費量	灯油		L	19,808.00	22,612.00	19,912.00		19,411.84	19,912.00	97%	×
			対売上（百万円）	7.20	8.22	7.74		7.06	7.74	91%	×
			対人員（人）	153.55	171.30	146.41		150.48	146.41	103%	○
	液化石油ガス(LPG)		kg	2,993.41	3,555.39	4,115.99		2,933.54	4,115.99	71%	×
			対売上（百万円）	1.09	1.29	1.60		1.07	1.60	67%	×
			対人員（人）	23.20	26.93	30.26		22.74	30.26	75%	×
	ガソリン		L	18,052.05	17,894.36	17,235.52		17,691.01	17,235.52	103%	○
			対売上（百万円）	6.56	6.50	6.70		6.43	6.70	96%	×
			対人員（人）	139.94	135.56	126.73		137.14	126.73	108%	○
	軽油		L	17,092.41	17,926.82	17,682.95		16,750.56	17,682.95	95%	×
			対売上（百万円）	6.21	6.51	6.88		6.09	6.88	89%	×
			対人員（人）	132.50	135.81	130.02		129.85	130.02	100%	○
② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	産業廃棄物	リサイクル量	t	44.10	43.00	37.35		43.22	37.35	116%	○
			対売上（百万円）	0.02	0.02	0.01		0.02	0.01	108%	○
			対人員（人）	0.34	0.33	0.27		0.34	0.27	122%	○
		可燃物	t	14.90	15.30	13.36		14.60	13.36	109%	○
			対売上（百万円）	0.01	0.01	0.01		0.01	0.01	102%	○
			対人員（人）	0.12	0.12	0.10		0.11	0.10	115%	○
		最終処分量	t	2.00	2.30	2.26		1.96	2.26	87%	×
			対売上（百万円）	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	81%	×
			対人員（人）	0.02	0.02	0.02		0.02	0.02	91%	×
③－2 水使用量	上水		m3	1,773.00	1,658.00	1,568.00		1,737.54	1,568.00	111%	○
			対売上（百万円）	0.64	0.60	0.61		0.63	0.61	104%	○
			対人員（人）	13.74	12.56	11.53		13.47	11.53	117%	○
④ 化学物質使用量	トルエン		kg	4,028.16	4,181.60	3,428.80		3,947.60	3,428.80	115%	○
			対売上（百万円）	1.46	1.52	1.33		1.43	1.33	108%	○
			対人員（人）	31.23	31.68	25.21		30.60	25.21	121%	○
	キシレン		kg	257.60	246.16	208.11		252.45	208.11	121%	○
			対売上（百万円）	0.09	0.09	0.08		0.09	0.08	113%	○
			対人員（人）	2.00	1.86	1.53		1.96	1.53	128%	○
	エチルベンゼン		kg	0.00	200.32	157.82		0.00	157.82	0%	
			対売上（百万円）	0.00	0.07	0.06		0.00	0.06	0%	
			対人員（人）	0.00	1.52	1.16		0.00	1.16	0%	
リサイクルパーツ提案件数			件数	210	207	203			203	0%	
			対売上（百万円）								
			対人員（人）								
売上高			百万円	2,751	2,752	2,571			2,571		
従業員数			人	129	132	136			136		

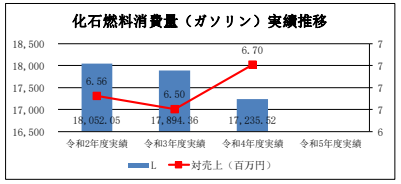
評価：○は達成できた。×は達成できなかった

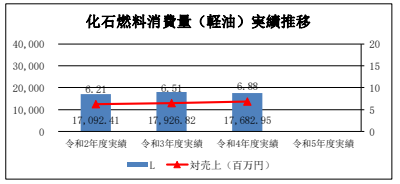


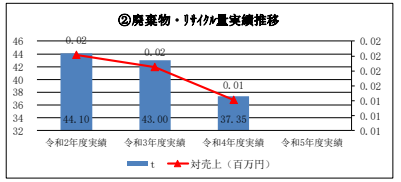


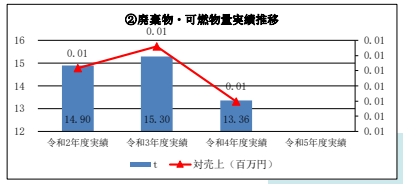


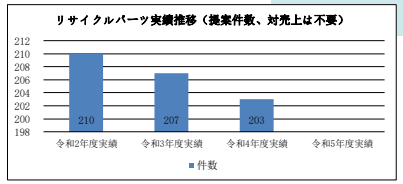


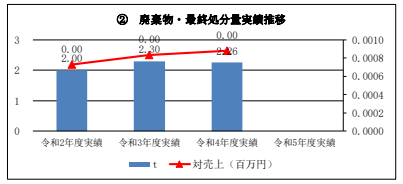


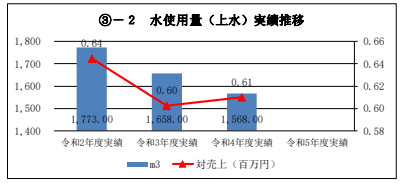


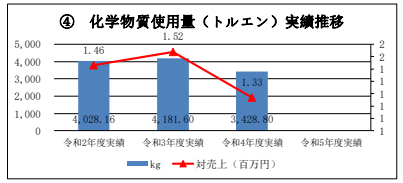


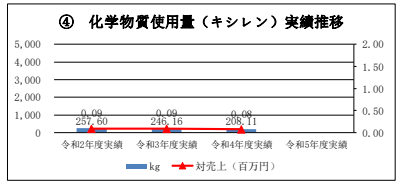


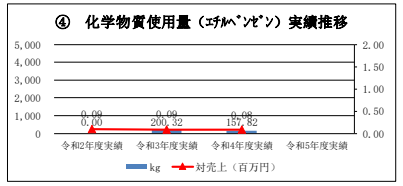












環境目標取りまとめ表　　基準年（排出係数0.480　令和2年度　九州電力排出係数）

環境への負荷			単位	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	評価	令和3年度 目標値	令和3年度 実績	令和3年度 達成率	評価	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	令和4年度 達成率	評価	令和5年度 目標値	令和5年度 実績	令和5年度 達成率	評価
① 温室効果ガス排出量	二酸化炭素		kg-CO2	259,229.79	273,023.04	265,527.98		○	256,637.49	273,023.04	94%	×	254,045.19	265,527.98	96%	×	251,452.90			
			対売上（百万円）	94.23	99.21	103.28		○	93.29	99.21	94%	×	92.35	103.28	89%	×	91.40			
			対人員（人）	2,009.53	2,068.36	1,952.41		○	1,989.44	2,068.36	96%	×	1,969.34	1,952.41	101%	○	1,949.25			
購入電力消費量			kWh	239,476.00	246,431.00	245,814.00		○	237,081.24	246,431.00	96%	×	234,686.48	245,814.00	95%	×	232,291.72			
			対売上（百万円）	87.05	89.55	95.61		○	86.18	89.55	96%	×	85.31	95.61	89%	×	84.44			
			対人員（人）	1,856.40	1,866.90	1,807.46		○	1,837.84	1,866.90	98%	×	1,819.28	1,807.46	101%	○	1,800.71			
化石燃料消費量	灯油		L	19,808.00	22,612.00	19,912.00		○	19,609.92	22,612.00	87%	×	19,411.84	19,912.00	97%	×	19,213.76			
			対売上（百万円）	7.20	8.22	7.74		○	7.13	8.22	87%	×	7.06	7.74	91%	×	6.98			
			対人員（人）	153.55	171.30	146.41		○	152.01	171.30	89%	×	150.48	146.41	103%	○	148.94			
	液化石油ガス(LPG)		kg	2,993.41	3,555.39	4,115.99		○	2,963.47	3,555.39	83%	×	2,933.54	4,115.99	71%	×	2,903.60			
			対売上（百万円）	1.09	1.29	1.60		○	1.08	1.29	83%	×	1.07	1.60	67%	×	1.06			
			対人員（人）	23.20	26.93	30.26		○	22.97	26.93	85%	×	22.74	30.26	75%	×	22.51			
	ガソリン		L	18,052.05	17,894.36	17,235.52		○	17,871.53	17,894.36	100%	×	17,691.01	17,235.52	103%	○	17,510.49			
			対売上（百万円）	6.56	6.50	6.70		○	6.50	6.50	100%	×	6.43	6.70	96%	×	6.37			
			対人員（人）	139.94	135.56	126.73		○	138.54	135.56	102%	○	137.14	126.73	108%	○	135.74			
	軽油		L	17,092.41	17,926.82	17,682.95		○	16,921.49	17,926.82	94%	×	16,750.56	17,682.95	95%	×	16,579.64			
			対売上（百万円）	6.21	6.51	6.88		○	6.15	6.51	94%	×	6.09	6.88	89%	×	6.03			
			対人員（人）	132.50	135.81	130.02		○	131.17	135.81	97%	×	129.85	130.02	100%	○	128.52			
② 廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量	産業廃棄物	リサイクル量	t	44.10	43.00	37.35		○	43.66	43.00	98%	×	43.22	37.35	116%	○	42.78			
			対売上（百万円）	0.02	0.02	0.01		○	0.02	0.02	98%	×	0.02	0.01	108%	○	0.02			
			対人員（人）	0.34	0.33	0.27		○	0.34	0.33	96%	×	0.34	0.27	122%	○	0.33			
		可燃物	t	14.90	15.30	13.36			14.75	15.30	96%	×	14.60	13.36	109%	○	14.45			
			対売上（百万円）	0.01	0.01	0.01			0.01	0.01	96%	×	0.01	0.01	102%	○	0.01			
			対人員（人）	0.12	0.12	0.10			0.11	0.12	99%	×	0.11	0.10	115%	○	0.11			
		最終処分量	t	2.00	2.30	2.26			1.98	2.30	86%	×	1.96	2.26	87%	×	1.94			
			対売上（百万円）	0.00	0.00	0.00			0.00	0.00	86%	×	0.00	0.00	81%	×	0.00			
			対人員（人）	0.02	0.02	0.02			0.02	0.02	88%	×	0.02	0.02	91%	×	0.02			
③－２ 水使用量	上水		m3	1,773.00	1,658.00	1,568.00		×	1,755.27	1,658.00	106%	○	1,737.54	1,568.00	111%	○	1,719.81			
			対売上（百万円）	0.64	0.60	0.61		×	0.64	0.60	106%	○	0.63	0.61	104%	○	0.63			
			対人員（人）	13.74	12.56	11.53		○	13.61	12.56	108%	○	13.47	11.53	117%	○	13.33			
④ 化学物質使用量	トルエン		kg	4,028.16	4,181.60	3,428.80		×	3,987.88	4,181.60	95%	×	3,947.60	3,428.80	115%	○	3,907.32			
			対売上（百万円）	1.46	1.52	1.33		×	1.45	1.52	95%	×	1.43	1.33	108%	○	1.42			
			対人員（人）	31.23	31.68	25.21		×	30.91	31.68	98%	×	30.60	25.21	121%	○	30.29			
	キシレン		kg	257.60	246.16	208.11		○	255.02	246.16	104%	○	252.45	208.11	121%	○	249.87			
			対売上（百万円）	0.09	0.09	0.08		○	0.09	0.09	104%	○	0.09	0.08	113%	○	0.09			
			対人員（人）	2.00	1.86	1.53		○	1.98	1.86	106%	○	1.96	1.53	128%	○	1.94			
	エチルベンゼン		kg	0.00	200.32	157.82			0.00	200.32	0%		0.00	157.82	0%		0.00			
			対売上（百万円）	0.00	0.07	0.06			0.00	0.07	0%		0.00	0.06	0%		0.00			
			対人員（人）	0.00	1.52	1.16			0.00	1.52	0%		0.00	1.16	0%		0.00			
リサイクルパーツ提案件数			件数	210	207	203				207	0%			203	0%					
			対売上（百万円）																	
			対人員（人）																	
売上高			百万円	2,751	2,752	2,571				2,752				2,571				0		
従業員数			人	129	132	136				132				136				0		

評価：○は達成できた。×は達成できなかった

評価「×」のデータに関して

・二酸化炭素排出量に関して

主に購入電力量の増加、化石燃料使用量の増加によるものと考える。車両メーカーの出荷停止措置等でベースシャーシの仕入が遅延して昨年よりさらに取り掛かり工期が遅くなり、秋から冬にかけて生産が集中して夜間の作業が大幅に増加したため。

・購入電力量に関して

総購入電力量は前年度より減らすことはできたが目標には届かなかった。主に夜間作業の増加が原因。

・灯油・LPG使用量に関して

灯油及びLPGの使用量は塗装ブースの使用時間に比例するもので、夜間の稼働時間の増加によるもの。

・産業廃棄物最終処分量に関して

リサイクルや可燃物に回る廃棄物に関しては目標が達成できたが、最終処分になる廃棄物は目標には達せなかったが結果は横ばいと考える。

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに 違反・訴訟等の有無

関係機関および近隣住民などからの苦情、指摘、訴訟などは有りませんでした。
また、現在および過去3年間、問題の無いことを確認いたしました。

№	環境関連法規等一覧表	遵守状況
1	環境保全協定書	○
2	大気汚染防止法	○
3	水質汚濁防止法	○
4	騒音規制法	○
5	振動規制法	○
6	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
7	特定化学物質の環境への排出量の把握及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR）	○
8	浄化槽法	○
9	消防法	○
10	自動車リサイクル法	○
11	日本自動車車体工業会 環境負荷物質削減の取り組み	○
12	フロン排出抑制法	○

11．代表者による全体評価と見直しの結果

マネジメントレビューを令和5年5月24日に行い以下の事を指摘した。

(1) マネジメントレビューのインプット報告を受けて、環境マネジメントシステムは有効に機能していると判断する。社員一人ひとりの環境に対する意識も向上しており、環境に貢献出来ていると判断する

(2) 年間活動計画は予定通り実行されている。これからも継続すること。

(3) 環境中長期目標

①基準年を令和2年度として次年度（令和3年度）より令和5年度までの3か年でCO2排出量（259,229kg-CO2）、産業廃棄物排出量および処分量（61t）、水使用量、化学物質使用料を3％削減するという目標に変更する。そのために単年で1％ずつ削減していく。（対売上）

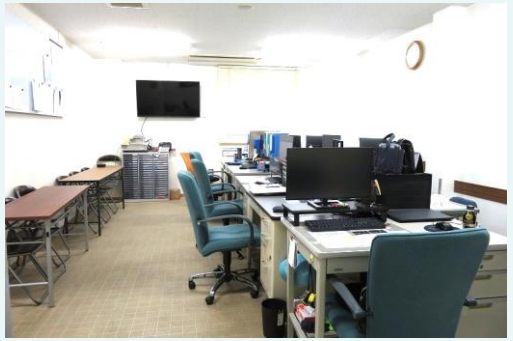
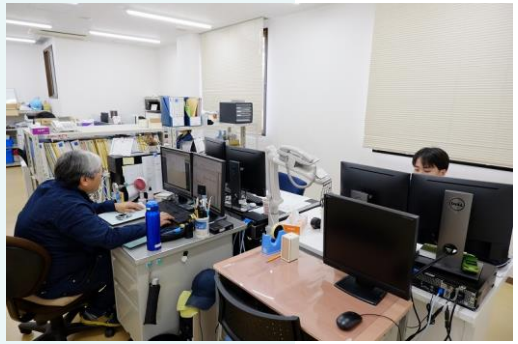
・排出係数は、R2年度実～R34.1.7環境省・経済産業省公表の九州電力のメニューB（残差）の0.480（kg-CO2/kWh）を用いる

②品質だけではなく環境についても社員教育の徹底をし、個人の環境意識を高める

(4) 環境経営方針について見直した結果、継続する

(5) 環境経営目標を見直した結果、各部署は目標達成に向けて環境経営計画を立案し運用する事

(6) 実施体制についても見直しを行った結果、継続する

12. 当社の環境活動のトピック

① 社内報にエコアクション21の内容と活動への理解を深めるため掲載しました。
② 健康経営優良法人2022の認証を受けました。
③ たくさんのお客様を呼んでの運動会を4年ぶりに実施しました。
④ 新入社員歓迎会や新年会を実施し社員の親睦を図りました。
⑤ 火災訓練（通報、避難、消火）を行いました。
⑥ 業務部の部屋を新設し、人員を分けてパーソナルスペースを広くしました。
⑦ 工場の改築をし、新たに管理職のための部屋をつくりました。
⑧ フロン排出抑制法遵守のため、年2回エアコン室外機の調査をしています。
⑨ 新入社員研修でエコアクションおよびSDGsへの会社の取り組みについて説明しました。
⑩ 社員勉強会を毎月行い、技能向上、材料使用量の削減、原価意識の向上などに努めています。
⑪ 社員の喫煙率を減らすため、独自の卒煙プロジェクト「ハッピー倶楽部」の活動を社内報にて周知しました。
⑫ 公式インスタグラムを開設し、情報発信に努めています。
⑬ 熊本空港マラソンのメインスポンサーとして地域スポーツの振興のお手伝いをしました。